

計画事業番号	00082	事務事業名	障がい福祉サービス等事業	担当部署	保健福祉部福祉課	電話	812
--------	-------	-------	--------------	------	----------	----	-----

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等	障害者総合支援法、児童福祉法ほか			
事務事業開始年度	平成18年度		個別計画等	北広島市地域福祉計画、北広島市障がい支援計画(平成27年度～平成29年度)			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章) 支えあい健やかに暮らせるまち						
	(第 4 節) 障がい福祉の充実						
	(施策 1 ) 地域生活支援の充実						
2 対象	障がい児・者、難病患者で障害福祉サービス(介護給付・訓練等給付・障がい児通所支援)の利用を必要とする方						
3 目的と内容	障がい児・者、難病患者の地域生活と社会参加を促進するため、ヘルパーによる介護、施設や事業所で各種のサービスを提供し、自立した生活を支援する。(就労・作業・創作活動、就業訓練、リハビリ、児童の療育、施設への入所・短期間の入所、共同生活住居など)						
4 実施内容(手段)	27年度まで	障がい福祉サービス等を提供するため、申請受理、障害支援区分認定調査、審査会の運営、支給決定、障害福祉サービス費及び障害児通所支援給付費の支給事務等を行う。 また、障がい福祉電算システムの運用・保守等を行う。 障がい児支援として、サービス利用を促進するため、障がい児通所支援事業の利用者負担の軽減する。(平成26年度から実施)					
	28年度	同上					

## 【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
ヘルパーによる介護の実施、児童の療育、施設や事業所での就労・作業・創作活動などの障がい福祉サービス等の提供 ガイドブックの発行(隔年)	ヘルパーによる介護の実施、児童の療育、施設や事業所での就労・作業・創作活動などの障がい福祉サービス等の提供 ガイドブックの発行(隔年)	ヘルパーによる介護の実施、児童の療育、施設や事業所での就労・作業・創作活動などの障がい福祉サービス等の提供		ヘルパーによる介護の実施、児童の療育、施設や事業所での就労・作業・創作活動などの障がい福祉サービス等の提供、ガイドブックの発行(隔年)、新障がい福祉システムの構築・動作検証等		ヘルパーによる介護の実施、児童の療育、施設や事業所での就労・作業・創作活動などの障がい福祉サービス等の提供	

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	障害者総合支援法・児童福祉法に基づく法定事業であり、継続してサービスを提供する。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			1,388,812	1,419,144	1,589,821	1,672,404
事業額	直接事業費	国支出金	654,410	683,027	746,755	791,422
		道支出金	341,353	359,393	408,956	431,269
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	230	0	0	0
		一般財源	392,819	376,724	434,110	449,713
		① 合計	1,388,812	1,419,144	1,589,821	1,672,404
	人件費	② 人数(年間)	0.15	0.15	0.15	0.15
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	1,350	1,350	1,350	1,350
総事業費①+④			1,390,162	1,420,494	1,591,171	1,673,754

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	①支給決定者数	目標値	889	802	898	945
		実績値	785			
	②実人数	目標値	889	802	898	945
		実績値	785			
③	目標値					
	実績値					
成果指標	①一人あたりコスト 総事業費/実人数	目標値	1,502	1,771	1,771	1,771
		実績値	1,770			
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
③	目標値					
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	障害者総合支援法・児童福祉法に基づき、障がい児・者の自立を目指した、在宅生活及び地域生活を送る根幹となる事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	法令に基づく必須事業であり、必要なサービス提供を選択制により利用している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	他の事業である相談支援事業の充実により、障がい児・者へのよりきめ細やかなサービスの提供ができ、地域や在宅での生活を支援することができる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	法令等でサービス内容や費用の設定が定められている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】  
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。